

保護者アンケート 結果報告書

平成23年8月
茨 木 市

目 次

調査の概要	 1
1 調査の目的	
2 調査方法	
(1) 保護者アンケート	
(2) 回収状況	
保護者アンケート調査結果	 2
1 保護者アンケートの概要	
2 調査結果	
(1) 現在の保育園のサービス内容について	
保護者との連携について	
クラス担任の保護者への対応について	 4
保育内容について	 6
行事について	 8
食育について	 9
保育環境について	 11
仕事に関する職員の努力や熱意について	 12
総合的な満足度について	 14
(2) 児童と保護者自身について	 15
子どもの通園の様子（喜んで通園しているか）	
保護者の安心感（安心して子どもを預けているか）	 16
(3) 民営化前後の保育内容・サービスについて	 17
移管前と比較して良くなった点	
移管前と比較して気になる点	 18
民営化の進め方	 19
【具体的な意見】	
情報提供	
スケジュール、引継ぎ、合同保育	
法人選考	 20
三者協議会	
民営化の良さ、	
新しい取り組みをしてほしい、現状にこだわりすぎ	
【主な意見と考え方】	
情報提供	
スケジュール、引継ぎ、合同保育	
法人選考	 21
三者協議会	 22

民営化の良さ、	
新しい取り組みをしてほしい、現状にこだわりすぎ	... 22
その他	
(4) その他、民営化について	... 24
民営化について	
【民営化以前からの在園世帯の具体的な意見】	... 25
保育の質に関する意見	
民営化の目的	
保護者への説明等	
民営化事業の検証	... 26
民営化までのスケジュール	
【民営化以後からの在園世帯の具体的な意見】	
保育の質に関する意見	
保護者の負担	
私立保育園への支援	... 27
保護者への説明等	
完全移行後の市の対応	
民営化までのスケジュール	
保育料の賦課徴収	
【民営化以前からの在園世帯の主な意見と市の考え方】	... 28
保育の質に関する意見	
民営化の目的	
保護者への説明等	... 29
民営化事業の検証	
民営化までのスケジュール	
【民営化以後からの在園世帯の主な意見と市の考え方】	... 30
保育の質に関する意見	
保護者の負担	
私立保育園への支援	
保護者への説明等	... 31
完全移行後の市の対応	
民営化までのスケジュール	
保育料の賦課徴収	
 保護者アンケートのまとめ	 ... 32
 ＜別添資料１＞	
保育園の保育内容等に関するアンケート	... 34

調査概要

1 調査の目的

このアンケート調査は、現在の保育内容、満足度、民営化前後の比較・進め方など、民営化した8か所の保育園に在園する児童の保護者の方から、広くご意見をいただき、民営化事業の評価に活用することを目的として実施しました。

2 調査方法

(1) 保護者アンケート

調査対象

平成23年2月1日現在、在園児童の保護者全員

兄弟姉妹関係は、1世帯としている。

対象世帯

805世帯

調査項目

別添資料1「保育園の保育内容等に関するアンケート」のとおり

調査の実施方法

当該保育園での配布・回収後、事務局（市）が回収

(2) 回収状況

保護者アンケートの結果については、「調査結果」において記述しているため、ここでは、回収状況についての概要を示しています。

	全体	民営化以前からの在園世帯の状況	民営化後からの在園世帯の状況
対象世帯	805世帯	350世帯	455世帯
回収	437世帯	178世帯	259世帯
未回収	367世帯	171世帯	196世帯
回収率	54.3%	50.9%	56.9%

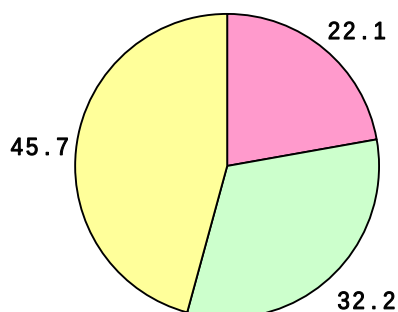
保護者アンケート調査結果

1 保護者アンケートの概要

平成 23 年 1 月 13 日に調査を実施し、全世帯 805 世帯のうち、全体で 437 世帯から回答を得ており、全体で 54.3%の回収率となっています。

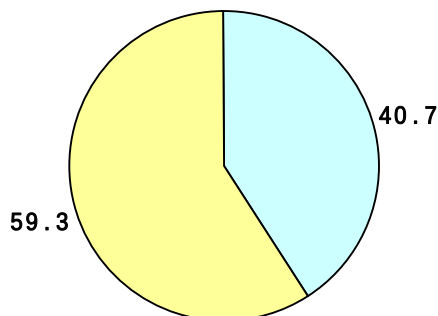
また、全世帯 805 世帯の内訳は、民営化以前からの在園世帯が 350 世帯、民営化以後からの在園世帯が 455 世帯であり、民営化以前からの在園世帯は 50.9%、民営化以後からの在園世帯は 56.9%の回答を得ています。

回 収 状 況 (%)



□ 民営化前 □ 民営化後 □ 未回答

回答者の属性 (%)



□ 民営化前 □ 民営化後

2 調査結果

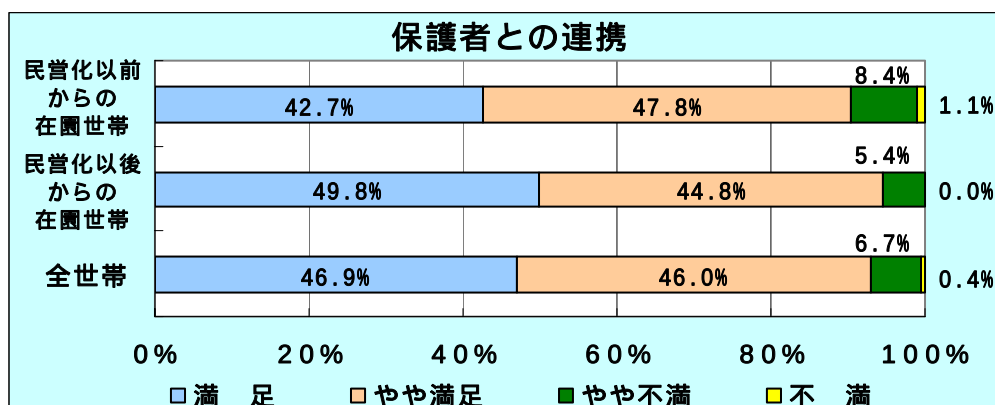
(1) 現在の保育園のサービス内容について

民営化した 8 保育園におけるサービス内容として、「保護者との連携」をはじめ、「保育内容」や「保育環境」など、8 項目にわたる設問について、現在、在籍している児童の保護者の方から、各項目に関して自由なご意見をいただくとともに、保護者の満足度を把握し、民営化事業評価の参考にしています。

また、8 項目にわたる設問について、「民営化以前からの在園世帯」と「民営化以後からの在園世帯」の区分別にその状況を把握しています。

保護者との連携について

保護者との連携として、「園だより」をはじめとする園から保護者への情報提供や保護者会との連携について、「満足」、「どちらかといえば満足」、「どちらかといえば不満」、「不満」の 4 つの項目から該当する項目を選択するとともに、何かご意見があれば記述いただいた。



その結果、合計では、回答をいただいた 437 世帯のうち、「満足」であると回答した方は 46.9%、「どちらかといえば満足」であると回答した方は 46.0%であり、「満足」と「どちらかといえば満足」であると回答した方の比率を合計すると、92.9%の方が、「保護者との連携」については、概ね満足しているという結果がでています。

一方、「不満」であると回答した方は 0.4%、「どちらかといえば不満」であると回答した方は 6.7%であり、「不満」と「どちらかといえば不満」と回答した方の比率を合計すると 7.1%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

区分別の回答を見ると、「民営化以前からの在園世帯」においては、「満足」と「どちらかといえば満足」であると回答した方の比率を合計すると、90.5%の方が「概ね満足している」という結果がでています。

一方、「不満」と「どちらかといえば不満」であると回答した方の比率を合計すると、9.5%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

また、「民営化以後からの在園世帯」においては、「満足」と「どちらかといえば満足」であると回答した方の比率を合計すると、94.6%の方が「概ね満足している」という結果がでています。

一方、「不満」であると回答した方はなく、「どちらかといえば不満」であると回答した 5.4%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

■ 保護者との連携についての区分別の主な意見

「保護者との連携」における記述意見については、「情報提供」、「園（先生）との連携」の 2 項目に大きく分類することができます。

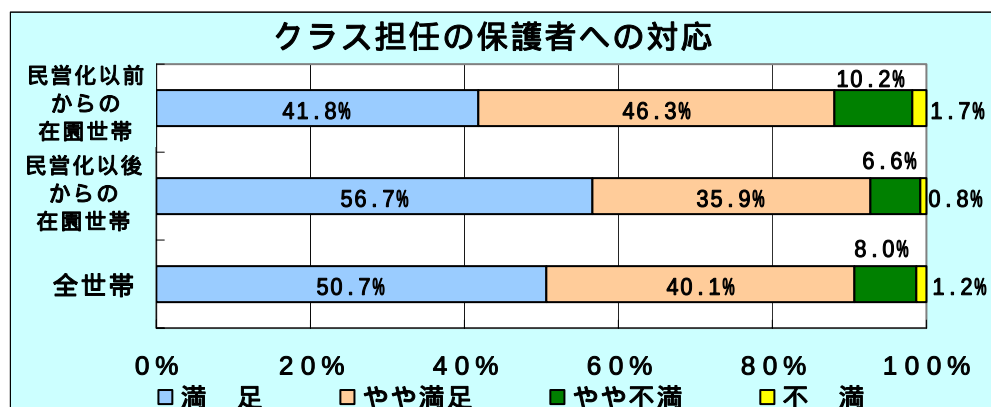
2 項目についての主な意見は、以下のとおりです。

	民営化以前からの在園世帯	民営化以後からの在園世帯
ア 情報提供		
こまめに情報提供してもらっている。	13	14
情報提供の不足や遅れ。	14	7

	民営化以前からの在園世帯	民営化以後からの在園世帯
イ 園（先生）との連携		
園と保護者が協力している。	3	1

クラス担任の保護者への対応について

クラス担任の保護者への対応として、「送迎の時」をはじめ、「病気・けがの時」や「個人ノート」などについて、「満足」、「どちらかといえば満足」、「どちらかといえば不満」、「不満」の4つの項目から該当する項目を選択するとともに、何か意見があれば記述いただいた。



その結果、合計では、回答をいただいた 437 世帯のうち、「満足」であると回答した方は 50.7%、「どちらかといえば満足」であると回答した方は 40.1%であり、「満足」と「どちらかといえば満足」であると回答した方の比率を合計すると、90.8%の方が、「クラス担任の保護者への対応」については、概ね満足しているという結果がでています。

一方、「不満」であると回答した方は 1.2%、「どちらかといえば不満」であると回答した方は 8.0%であり、「不満」と「どちらかといえば不満」と回答した方の比率を合計すると 9.2%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

区分別の回答を見ると、「民営化以前からの在園世帯」においては、「満足」と「どちらかといえば満足」であると回答した方の比率を合計すると、88.1%の方が「概ね満足している」という結果がでています。

一方、「不満」と「どちらかといえば不満」とであると回答した方の比率を合計すると、11.9%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

また、「民営化以後からの在園世帯」においては、「満足」と「どちらかといえば満足」とであると回答した方の比率を合計すると、92.6%の方が「概ね満足している」という結果がでています。

一方、「不満」と「どちらかといえば不満」とであると回答した方の比率を合計すると、7.4%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

■ クラス担任の保護者への対応についての区分別の主な意見

「クラス担任の保護者への対応」における記述意見については、「送迎の時、病気・けがの時」、「個人ノート」、「園（先生）の対応」、「相談ごとへの対応」、「言葉使い・挨拶礼儀、笑顔」の5項目に大きく分類することができます。

5項目についての主な意見は、以下のとおりです。

	民営化以前からの在園世帯	民営化以後からの在園世帯
ア 送迎の時、病気・けがの時		
何かあれば、送迎時に言っていただけで問題ない。	3	2
小さな傷でも、恐縮するほど丁寧に対応している。	2	0
病気の子どもの様子をよく見てくれたり、アドバイスもあり助かる。	3	1
口頭での伝達だけでなく個人ノートなどで詳しく説明をしてほしい。	6	4

	民営化以前からの在園世帯	民営化以後からの在園世帯
イ 個人ノート		
毎日、きちんとノートを書いていたでいる。	6	7
個人ノートの書き忘れや未確認がある。	5	0
個人ノートでのやり取りができていない。（充実してほしい）	3	8

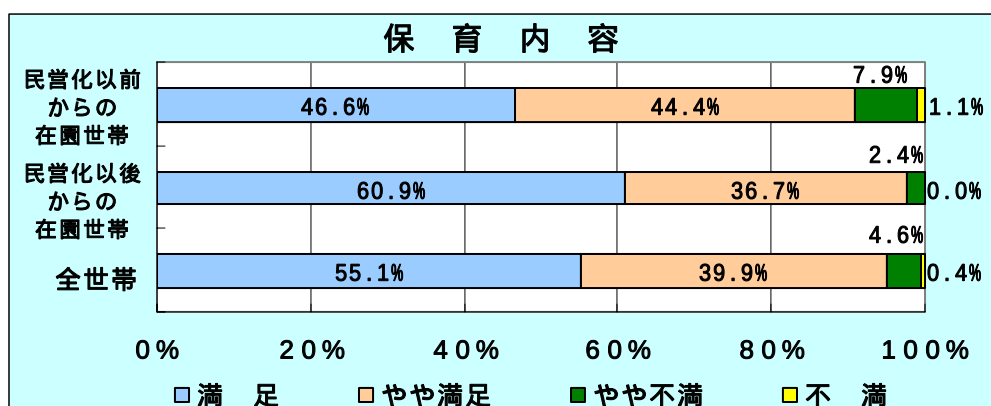
	民営化以前からの在園世帯	民営化以後からの在園世帯
ウ 園（先生）の対応		
担任の先生には、よくしていただいている。（信頼している。）	11	14
担任だけでなく、みんなで子どもを見てくれているという感じで安心。	1	10
保護者によって対応が違う感じがする。	2	1
保護者に気を使いすぎている面もある。（先生方が心配）	3	0

	民営化以前からの在園世帯	民営化以後からの在園世帯
エ 相談ごとへの対応		
先生の年齢が若くなり、育児経験者が少ない。	2	2

	民営化以前からの在園世帯	民営化以後からの在園世帯
オ 言葉遣い・挨拶礼儀、笑顔		
こちらが見習わないといけないくらい丁寧。（気持ちがいい）	0	6
挨拶ができていない先生がいる。	0	5

保育内容について

保育内容として、「運動遊び」をはじめ、「造形遊び」や「音楽遊び」、「他の豊富な体験」などについて、「満足」、「どちらかといえば満足」、「どちらかといえば不満」、「不満」の4つの項目から該当する項目を選択するとともに、何か意見があれば記述いただいた。



その結果、合計では、回答をいただいた 437 世帯のうち、「満足」であると回答した方は 55.1%、「どちらかといえば満足」であると回答した方は 39.9%であり、「満足」と「どちらかといえば満足」であると回答した方の比率を合計すると、95%の方が、「保育内容」については、概ね満足しているという結果がでています。

一方、「不満」であると回答した方は 0.4%、「どちらかといえば不満」であると回答した方は 4.6%であり、「不満」と「どちらかといえば不満」と回答した方の比率を合計すると 5%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

区分別の回答を見ると、「民営化以前からの在園世帯」においては、「満足」と「どちらかといえば満足」であると回答した方の比率を合計すると、91%の方が「概ね満足している」という結果がでています。

一方、「不満」と「どちらかといえば不満」であると回答した方の比

率を合計すると、９％の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

また、「民営化以後からの在園世帯」においては、「満足」と「どちらかといえば満足」であると回答した方の比率を合計すると、97.6％の方が「概ね満足している」という結果がでています。

一方、「不満」であると回答した方はなく、「どちらかといえば不満」であると回答した 2.4％の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

■ 保育内容についての区分別の主な意見

「保育内容」における記述意見については、「散歩等」、「運動遊び等」、「その他の体験」の３項目に大きく分類することができます。

３項目についての主な意見は、以下のとおりです。

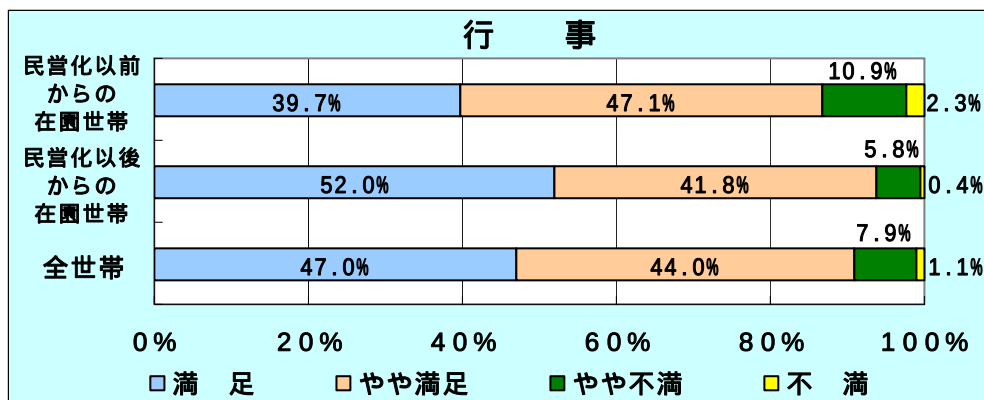
	民営化以前からの在園世帯	民営化以後からの在園世帯
ア 散歩等		
散歩も頑張っており、毎日、無事に過ごさせてもらって感謝している。	3	0
天候などに合わせた臨機応変な対応をしてほしい。	3	0
散歩を増やしてほしい。（虫取りや木の実取りも）	7	2

	民営化以前からの在園世帯	民営化以後からの在園世帯
イ 運動遊び等		
運動能力は全体的に上がった。（子どもは楽しそう。）	2	3
運動能力が落ちたと思う。	2	0
年長になれば、スポーツ活動をしてもらいたい。	2	0
運動や遊びがやや足りない。（目標をもって取り組んでほしい。）	4	1
外遊び（園庭）のとき、あまり担任が出てこない。	2	0

	民営化以前からの在園世帯	民営化以後からの在園世帯
ウ その他の体験		
いろいろな遊び・運動・体験を取り入れてくれるので嬉しい。（満足）	11	20
もっと色々な体験させてほしい。	2	9
作品の制作、展示が少なくなった気がする。	4	2

行事について

各保育園の行事として、「行事の内容」と「実施日の配慮」について、「満足」、「どちらかといえば満足」、「どちらかといえば不満」、「不満」の4つの項目から該当する項目を選択するとともに、何か意見があれば記述いただいた。



その結果、合計では、回答をいただいた437世帯のうち、「満足」として回答した方は47.0%、「どちらかといえば満足」として回答した方は44.0%であり、「満足」と「どちらかといえば満足」として回答した方の比率を合計すると、91%の方が、「行事(全般)」については、概ね満足しているという結果がでています。

一方、「不満」として回答した方は1.1%、「どちらかといえば不満」として回答した方は7.9%であり、「不満」と「どちらかといえば不満」として回答した方の比率を合計すると9%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

区分別の回答を見ると、「民営化以前からの在園世帯」においては、「満足」と「どちらかといえば満足」として回答した方の比率を合計すると、86.8%の方が「概ね満足している」という結果がでています。

一方、「不満」と「どちらかといえば不満」として回答した方の比率を合計すると、13.2%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

また、「民営化以後からの在園世帯」においては、「満足」と「どちらかといえば満足」として回答した方の比率を合計すると、93.8%の方が「概ね満足している」という結果がでています。

一方、「不満」と「どちらかといえば不満」として回答した方の比率を合計すると、6.2%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

■ 行事についての区分別の主な意見

「行事」における記述意見については、「行事の内容」、「実施日の配慮」の２項目に大きく分類することができます。

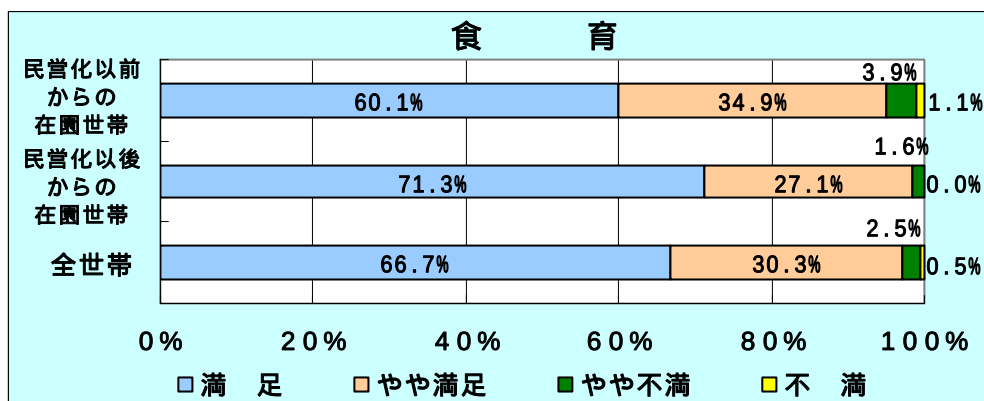
２項目についての主な意見は、以下のとおりです。

	民営化以前からの在園世帯	民営化以後からの在園世帯
ア 行事の内容		
内容が豊富になっており、楽しく見させていただいている。	7	10
そろそろ、園独自の取り組みをしてほしい。	3	0
公立の行事を引き継いでおり、先生方も努力している。	3	0
生活発表会を家族で見れるよう配慮してほしい。	2	0
運動会をもう少し広い場所でやってほしい。	3	0
行事の時間配分などに工夫が必要。	2	0
２月に行事が重なるのは避けてほしい。	2	0

	民営化以前からの在園世帯	民営化以後からの在園世帯
イ 実施日の配慮		
保護者の負担がないようにと考えてくれている。	4	1
土曜日の行事は助かる。	5	1
３連休の初日に行事が多く、家族で出かける計画が立てにくい。	3	1
懇談会など、夕方や土曜日の開催を考えてほしい。	3	2

食育について

食育として、「メニュー、食材、菜園活動、クッキング、マナー」について、「満足」、「どちらかといえば満足」、「どちらかといえば不満」、「不満」の４つの項目から該当する項目を選択するとともに、何か意見があれば記述いただいた。



その結果、合計では、回答をいただいた 437 世帯のうち、「満足」であると回答した方は 66.7%、「どちらかといえば満足」であると回答した方は 30.3%であり、「満足」と「どちらかといえば満足」であると回答した方の比率を合計すると、97%という非常に高い比率で多くの方が「食育(全般)」については、概ね満足しているという結果がでています。

一方、「不満」であると回答した方は 0.5%、「どちらかといえば不満」であると回答した方は 2.5%であり、「不満」と「どちらかといえば不満」と回答した方の比率を合計すると 3%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

区分別の回答を見ると、「民営化以前からの在園世帯」においては、「満足」と「どちらかといえば満足」であると回答した方の比率を合計すると、95%の方が「概ね満足している」という結果がでています。

一方、「不満」と「どちらかといえば不満」であると回答した方の比率を合計すると、5%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

また、「民営化以後からの在園世帯」においては、「満足」と「どちらかといえば満足」であると回答した方の比率を合計すると、98.4%の方が「概ね満足している」という結果がでており、非常に高い数値となっています。

一方、「不満」であると回答した方はなく、「どちらかといえば不満」であると回答した 1.6%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

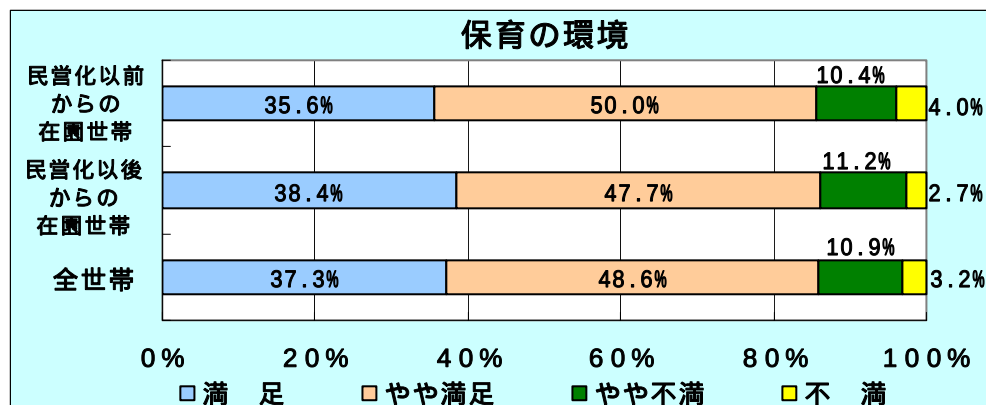
■食育についての主な意見

「食育」における記述意見については、「メニュー、食材、菜園活動、クッキング、マナー」全般についての意見であり、その主な意見は、以下のとおりです。

■食育（メニュー、食材、菜園活動、クッキング、マナー）	民営化以前からの在園世帯	民営化以後からの在園世帯
給食、食育、クッキングは良くしてくれている。（満足、楽しそう）	31	23
手作りおやつが増えてうれしい。	3	3
好き嫌いなく食べるようになった。（片づけなども教育されている）	0	4
マナーについてはよく分からない。	2	0
食事マナーや後かたづけなどの指導をしてほしい。（好き嫌いも）	3	1
菜園活動からクッキングへの取り組みを充実してほしい。	2	1
季節などを考慮した給食や果物等を増やしてほしい。（既製品も多い）	4	2

保育環境について

保育環境として、「安全面」、「設備・備品面」、「美的環境、衛生面」などについて、「満足」、「どちらかといえば満足」、「どちらかといえば不満」、「不満」の4つの項目から該当する項目を選択するとともに、何か意見があれば記述いただいた。



その結果、合計では、回答をいただいた 437 世帯のうち、「満足」であると回答した方は 37.3%、「どちらかといえば満足」であると回答した方は 48.6%であり、「満足」と「どちらかといえば満足」であると回答した方の比率を合計すると、85.9%の方が、「保育環境」については、概ね満足しているという結果がでています。

一方、「不満」と回答した方は 3.2%、「どちらかといえば不満」と回答した方は 10.9%であり、「不満」と「どちらかといえば不満」と回答した方の比率を合計すると 14.1%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

区分別の回答を見ると、「民営化以前からの在園世帯」においては、「満足」と「どちらかといえば満足」であると回答した方の比率を合計すると、85.6%の方が「概ね満足している」という結果がでています。

一方、「不満」と「どちらかといえば不満」と回答した方の比率を合計すると、14.4%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

また、「民営化以後からの在園世帯」においては、「満足」と「どちらかといえば満足」であると回答した方の比率を合計すると、86.1%の方が「概ね満足している」という結果がでています。

一方、「不満」と「どちらかといえば不満」と回答した方の比率を合計すると、13.9%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

■ 保育環境についての区分別の主な意見

「保育環境」における記述意見については、「安全面」、「設備・備品面」、「美的環境、衛生面」の3項目に大きく分類することができます。
3項目についての主な意見は、以下のとおりです。

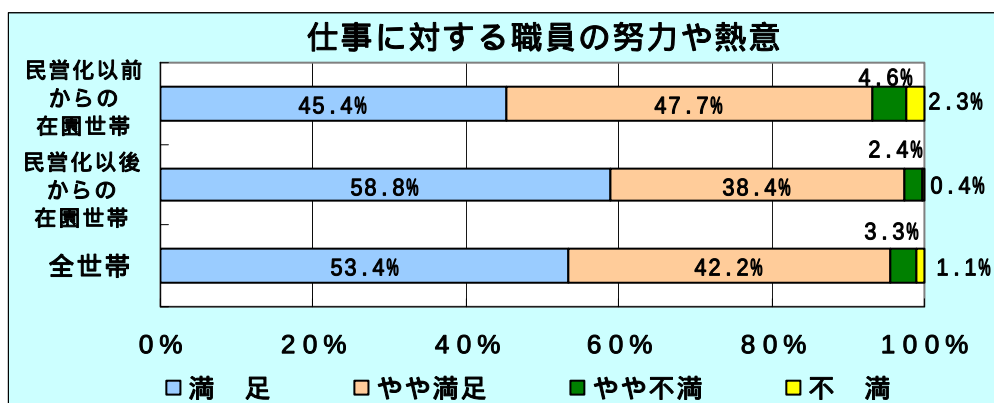
	民営化以前からの在園世帯	民営化以後からの在園世帯
ア 安全面		
オートロックになり、安全面に配慮されている。	3	0
門扉の施錠ができていない。（送迎時への配慮など）	3	1

	民営化以前からの在園世帯	民営化以後からの在園世帯
イ 設備・備品面		
設備はよくなった。	5	3
施設・設備の老朽化。	1	5

	民営化以前からの在園世帯	民営化以後からの在園世帯
ウ 美的環境、衛生面		
きれいにしている、先生方が努力している。	2	6
掃除をもう少しきっちりしてほしい。	8	6

仕事に関する職員の努力や熱意について

「仕事に対する職員の努力や熱意」について、「満足」、「どちらかといえば満足」、「どちらかといえば不満」、「不満」の4つの項目から該当する項目を選択するとともに、何か意見があれば記述いただいた。



その結果、合計では、回答をいただいた 437 世帯のうち、「満足」であると回答した方は 53.4%、「どちらかといえば満足」であると回答した方は 42.2%であり、「満足」と「どちらかといえば満足」であると回答した方の比率を合計すると、95.6%という非常に高い比率で多くの方が「職員の努力や熱意」については、概ね満足しているという結果がでています。

一方、「不満」であると回答した方は 1.1%、「どちらかといえば不満」であると回答した方は 3.3%であり、「不満」と「どちらかといえば不満」と回答した方の比率を合計すると 4.4%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

区分別の回答を見ると、「民営化以前からの在園世帯」においては、「満足」と「どちらかといえば満足」であると回答した方の比率を合計すると、93.1%の方が「概ね満足している」という結果がでています。

一方、「不満」と「どちらかといえば不満」であると回答した方の比率を合計すると、6.9%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

また、「民営化以後からの在園世帯」においては、「満足」と「どちらかといえば満足」であると回答した方の比率を合計すると、97.2%の方が「概ね満足している」という結果がでており、非常に高い数値となっています。

一方、「不満」と「どちらかといえば不満」であると回答した方の比率を合計すると、2.8%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

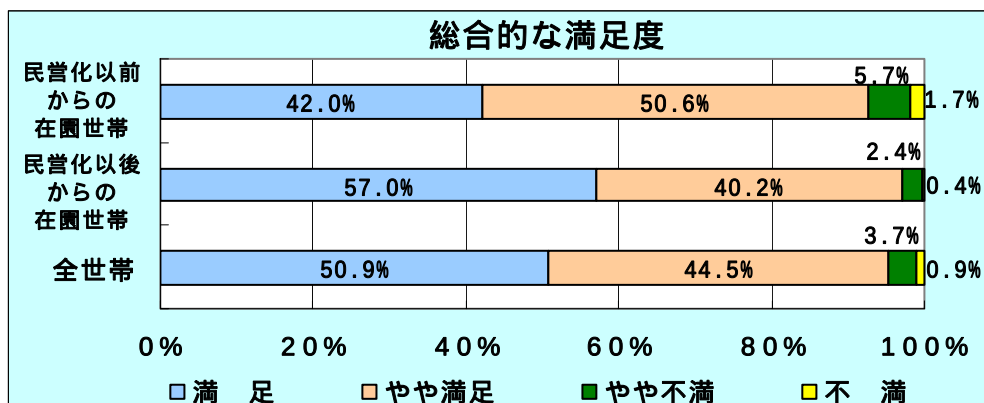
■ 職員の努力や熱意についての主な意見

「職員の努力や熱意」における主な記述意見については、以下のとおりであり、アンケート調査を見ても、「職員の努力や熱意」については、非常に満足度が高く、先生方の努力や熱意が伝わっており、保護者の信頼も得られていることが考察できます。

	民営化以前 からの 在園世帯	民営化以後 からの 在園世帯
■ 職員の努力や熱意		
園長、先生方は熱心に接してくれる。（自己研鑽している）	13	11
年度途中で退職する先生が多いので残念。	3	0
先生が忙しそうなので、コミュニケーションが取れない。	2	0
一生懸命なのは感じるが、空回りしている感じもある。	2	2
先生によって違う。	2	4

総合的な満足度について

「総合的な満足度」について、「満足」、「どちらかといえば満足」、「どちらかといえば不満」、「不満」の4つの項目から該当する項目を選択するとともに、何か意見があれば記述いただいた。



その結果、合計では、回答をいただいた 437 世帯のうち、「満足」であると回答した方は 50.9%、「どちらかといえば満足」であると回答した方は 44.5%であり、「満足」と「どちらかといえば満足」であると回答した方の比率を合計すると、95.4%という非常に高い比率で多くの方が「総合的な満足度」については、概ね満足しているという結果がでています。

一方、「不満」と回答した方は 0.9%、「どちらかといえば不満」と回答した方は 3.7%であり、「不満」と「どちらかといえば不満」と回答した方の比率を合計すると 4.6%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

区分別の回答を見ると、「民営化以前からの在園世帯」においては、「満足」と「どちらかといえば満足」であると回答した方の比率を合計すると、92.6%の方が「概ね満足している」という結果がでています。

一方、「不満」と「どちらかといえば不満」と回答した方の比率を合計すると、7.4%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

また、「民営化以後からの在園世帯」においては、「満足」と「どちらかといえば満足」であると回答した方の比率を合計すると、97.2%の方が「概ね満足している」という結果がでており、非常に高い数値となっています。

一方、「不満」と「どちらかといえば不満」と回答した方の比率を合計すると、2.8%の方が「何らかの不満を有している」という結果がでています。

■ 総合的な満足度についての主な意見

「総合的な満足度」における主な記述意見については、以下のとおりであり、アンケート調査を見ても、「総合的な満足度」については、非常に高い比率で満足度が得られ、下記に示す主な意見以外には、「単に、公立と民営（私立）の違いではなく、色々な工夫をしていることが伝わる」や「働くために預かっていただいているので、本当は、それだけで満足するべきと考えている」など、保護者の方の温かい心遣いが考察できる意見があります。

	民営化以前からの在園世帯	民営化以後からの在園世帯
■ 総合的な満足度		
子どものことを一番に考えてくれる。（子どもも楽しそう）	3	6
民営化され良くなったと思う。（満足、不満はない、移管もスムーズ）	17	11
公立のままであってほしかった。	5	0
いい面もあれば、良くない面もある。	5	0
職員の経験年数や退職が早くて不安。	3	4

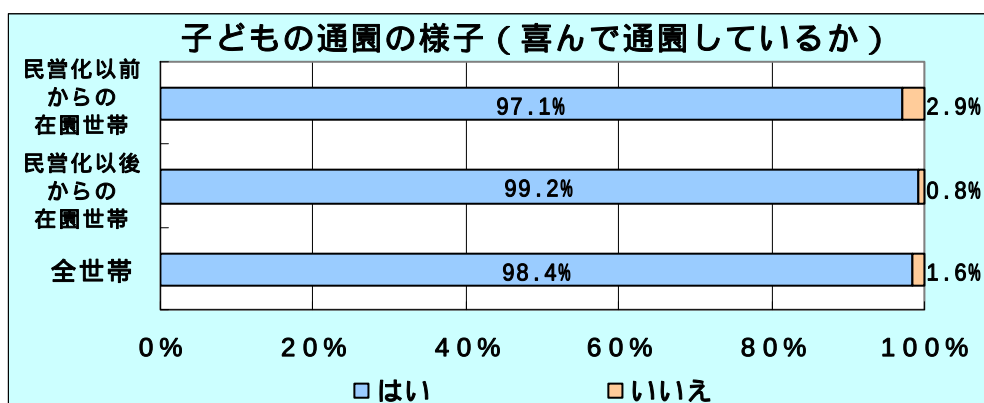
(2) 児童と保護者自身について

民営化した 8 保育園に在籍している児童及び保護者の現状を把握するため、子どもたちへの保育環境の急激な変化を最小限に止めるという観点から、児童と保護者自身への設問として、お子さんの通園状況及び保護者の安心感を把握し、民営化事業評価の参考にしています。

また、この項目においても「民営化以前からの在園世帯」と「民営化以後からの在園世帯」の区分別にその状況を把握しています

子どもの通園の様子（喜んで通園しているか）

「お子さんは喜んで通園しているか」については、「はい」、「いいえ」の 2 項目から該当する項目を選択していただいた。



その結果、合計では、回答をいただいた 437 世帯のうち、「喜んで通園しているか」の問いに「はい」と回答した方は 98.4%、「いいえ」と回答した方は 1.6%であり、非常に高い比率で多くのお子さんが「喜んで通園している」という結果がでています。

区分別の回答を見ると、「民営化以前からの在園世帯」においては、「はい」と回答した方は 97.1%、「いいえ」と回答した方は 2.9%という結果がでています。

また、「民営化以後からの在園世帯」においては、「はい」と回答した方は 99.2%、「いいえ」と回答した方は 0.8%という結果であり、民営化以前・以後を問わず、非常に高い比率で多くのお子さんが「喜んで通園している」という結果がでています。

一方、「いいえ」と回答された方については、回答をいただいた 437 世帯のうち、「民営化以前からの在園世帯」で 5 世帯、「民営化以後からの在園世帯」で 2 世帯という状況であります。

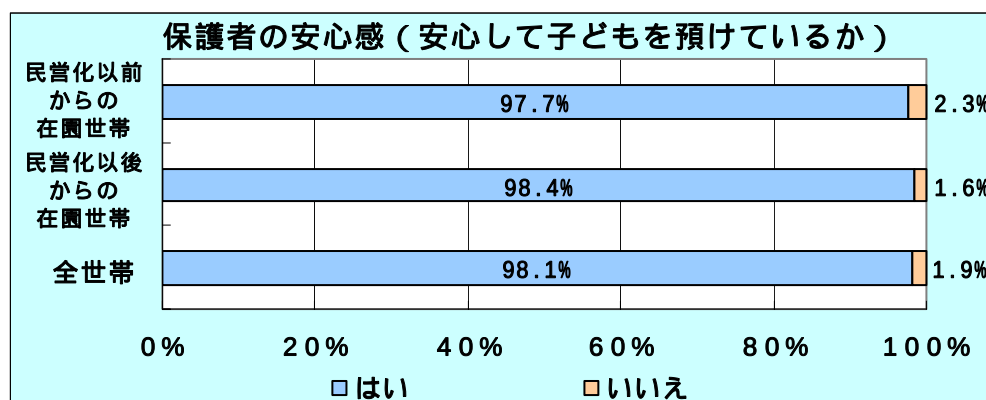
この 7 世帯の「(1)現在の保育園のサービス内容について」の満足度結果は、「満足」及び「どちらかといえば満足」と回答した世帯の比率が 75%であり、「不満」及び「どちらかといえば不満」と回答した世帯の比率は 25%という状況であります。

この設問は、「子どもの視点」が重要であり、437 世帯中 7 世帯、1.6%の比率で「喜んで通園していない」との回答を得ており、低い比率ではあるが、全ての子ども達が喜んで通園ができるよう、公立・私立を問わず、子ども達への適切かつ柔軟な対応に留意する必要があります。

全体的には、非常に高い比率で多くのお子さんが「喜んで通園している」状況が考察でき、概ね適正であると言えます。

保護者の安心感（安心して子どもを預けているか）

「安心して子どもを預けているか」については、「はい」、「いいえ」の 2 項目から該当する項目を選択していただいた。



その結果、合計では、回答をいただいた 437 世帯のうち、「安心して子どもを預けているか」の問いに「はい」と回答した方は 98.1%、「いいえ」と回答した方は 1.9%であり、非常に高い比率で多くの保護者の方が「安心して子どもを預けている」という結果がでています。

区分別の回答を見ると、「民営化以前からの在園世帯」においては、「はい」と回答した方は 97.7%、「いいえ」と回答した方は 2.3%という結果がでています。

また、「民営化以後からの在園世帯」においては、「はい」と回答した方は 98.4%、「いいえ」と回答した方は 1.6%という結果であり、民営化以前・以後を問わず、非常に高い比率で多くの保護者の方が「安心して子どもを預けている」という結果がでています。

一方、「いいえ」と回答された方については、回答をいただいた 437 世帯のうち、「民営化以前からの在園世帯」で 4 世帯、「民営化以後からの在園世帯」で 4 世帯という状況であります。

この 8 世帯の 8 項目からなるアンケートの満足度結果については、「満足」及び「どちらかといえば満足」であると回答した世帯の比率が 46.9%であり、「不満」及び「どちらかといえば不満」と回答した世帯の比率は 53.1%という状況であります。

この設問は、「保護者の視点」からの意見であり、「いいえ」と回答した 8 世帯では、満足度の低いことが考察できます。

また、意見欄では、保護者への説明やコミュニケーション不足などが伺える一方、子ども達の育ちの全てを保育園や市に求めている傾向にあり、それぞれの適正な役割分担を再認識しつつ、保護者、保育園、市がそれぞれ適正な役割分担のもと、「次代を担う子ども達のために何ができるのか、また、何が必要なのか」を見極め、互いに連携しながら、児童の心身ともに健やかな育成に留意する必要があります。

全体的には、非常に高い比率で多くの保護者の方が「安心して子どもを預けている」状況が考察でき、概ね適正であると言えます。

(3) 民営化前後の保育内容・サービスについて

民営化した 8 保育園における保育内容・サービスとして、民営化前後において、「良くなった点」及び「気になる点」や「民営化の進め方」について、民営化以前から在園されている方のみを対象に、自由なご意見をいただき、民営化事業評価の参考にしています。

移管前と比較して良くなった点

アンケートでは、「良くなった点」として、保護者からの意見を求めていることもあるが、100 件を超える「良くなった点」に対する意見が寄せられています。

「良くなった点」を大きく分類すると、下記の表のとおりであり、「保育園の先生に対する意見」をはじめ、「設備がよくなった」や「給食や食育」などの意見が多いほか、「保育内容の充実」や「保育園の柔軟な対応」、「子どもが楽しそう」、などの意見も多く、意見の中には、「民営化されて良かった」という意見もあります。

	民営化以前からの在園世帯
■移管前と比べて良くなったと思う点	
保育園の先生に対する意見	35
施設面のリフォームなど、設備が良くなった	18
給食や食育の充実	15
保育内容の充実	14
保育園の柔軟な対応	12
子どもが楽しそう（あいさつができる、先生との信頼や絆が強い）	8

移管前と比較して気になる点

アンケートでは、「気になる点」として、80件を超える「気になる点」に対する意見が寄せられています。

主な意見については、下記の表のとおりであるが、「若い先生であっても、熱心に丁寧に接しており、相対的なバランスは取れている」という意見の方や「子どもの保育と親育てもしてほしい」といった意見もあります。

	民営化以前からの在園世帯
■移管前と比べて気になる点	
先生の入替わりが多い。	16
先生の目が行き届いていないような気がする。	10
子どもへの指導をしっかりとしてほしい。	10
先生が若く、相談できる人が少ない。	8
先生同士の連絡が取れていないように思う。	6
先生の数が少ないのではないかな。	6

民営化の進め方

「民営化の進め方」については、「情報提供」や「スケジュール」、「法人選考」などについて、自由に記述いただいた。

主な意見については、下記の表のとおり、6項目に大きく分類できます。

また、「スケジュール、引継ぎ、合同保育」については、全体的なスケジュールの中に、引継ぎ、合同保育を含めた期間等に関する意見が多いため、まとめて集計しています。

なお、「法人選考」については、募集対象法人の範囲の拡大や選考方法の改善などの意見があり、今後、民営化事業の評価を通じて、その適正なあり方についても検討する必要があります。

■ 民営化の進め方	民営化以前からの在園世帯
情報提供	6
スケジュール、引継ぎ、合同保育	26
法人選考	11
三者協議会	6
民営化の良さ、新しい取り組みをしてほしい、現状にこだわりすぎ	4
その他	30

【具体的な意見】

情報提供

- ・ 情報や決定権が一部の保護者のみが分かっていて、他の保護者には分からないことが多かった。
- ・ 情報の提供が少なかった。
- ・ 情報提供に対する消極的な姿勢が不満である。

スケジュール、引継ぎ、合同保育

- ・ 子どもたちへの保育環境の変化に配慮というが、子どもたちは楽しい時間がくれば順応していくと思う。
- ・ 全てにおいて、もっとスケジュールを長く組んでほしい。
- ・ 少なくとも1年はかけて、年間行事を全て網羅してから移管してほしい。

法人選考

- ・ 民営化のとき、手を挙げる園が少ないとそこからしか選べないのでシステムの改善を考えてほしい。
- ・ 茨木市内の法人に限ると保護者が選ぶ幅が狭くなるのではないか。
- ・ 法人選考がもう少し緩くなると選択が広がると思う。

三者協議会

- ・ 保護者は民営化をするかどうかを決める話し合いと思っていたが、行政は、民営化を前提で、意見や希望を聴くという姿勢だったので保護者との溝を感じた。
- ・ 三者協議会は夜なので参加しにくく、一部の人で進められていた。

民営化の良さ、新しい取り組みをしてほしい、現状にこだわりすぎ

- ・ 今まで公立でしていない夜間保育、外国語教育等特徴のある保育に民間は取り組んでほしい。
- ・ 現状維持にこだわりすぎて、良いことも実施できてない。

【主な意見と考え方】

このような保護者からの具体的な意見のほか、「その他」の具体的な意見を含め、誤解されている意見や回答を求めている意見などがあることから、以下のとおり、一覧表にまとめて考え方を示しています。

情報提供

	主 な 意 見	考 え 方
1	・ 情報提供など、市の消極的な姿勢が不満。現場のことを何も分からず進めているのではないか思えない。 ・ 情報提供が少なかったように思う。	民営化の説明会や三者協議会を通じて、情報の提供に努めてきましたが、今後も、三者協議会や保育園と連携を図るとともに、市のホームページ等を活用して、情報の提供に努め、しっかりと説明責任を果たし、子どもの最善の利益のために努めてまいります。

スケジュール、引継ぎ、合同保育

	主 な 意 見	考 え 方
1	・ 引継保育が全学年の子どもに対してではなかったのが不満でした。 ・ できれば公立の所長を4・5年は配置してほしい。 ・ 引継期間にいた先生がすぐ辞めてしまったので意味がない。	所長を含め、3人体制により、全学年の子どもを対象に、引継保育を実施しています。私立保育園の柔軟性や即応性に着目し、地域で求められる保育ニーズに柔軟に対応することを目的としており、公立所長の配置は考えておりません。一人の保育士に対して全てを引き継いでいるのではなく、また、巡回保育も実施し、円滑な引継に努めています。

スケジュール、引継ぎ、合同保育

	主 な 意 見	考 え 方
2	・引き継ぐ法人が十分な準備期間もなく、4月を迎えているように感じた。保育に影響がでる。子どもにいい迷惑。 ・移管先が決定して、1・2年後に手渡すくらいの期間がほしい。 ・全てにおいて、もっとスケジュールを長く組んでほしい。 ・引継保育では、保健の先生も残ってもらえたら保護者は安心。	保護者説明会をはじめ、合同保育や引継保育、巡回保育など、必要な期間を検討し、合同保育3か月、引継保育6か月、巡回保育3か月、合計1年間を通して、保護者の不安解消と保育環境の変化を最小限に止めるよう、円滑な引き継ぎに努めております。 今後、民営化事業の評価を通じて、より一層の円滑な引き継ぎが行われるよう、引継保育等の実施期間等について十分検討してまいります。

法人選考

	主 な 意 見	考 え 方
1	・公立と同じ方針の法人を選んでほしい。 ・5年間は継承するといっても基本方針が違くと保育にも影響する。	これまで、移管先法人は、私立保育園を運営してこられた実績があります。 また、保育所保育指針にも示されているように、各保育所の独自性や創意工夫が第一義的に尊重されつつ、一定の保育の水準を保つこととされています。 したがって、公立・私立を問わず、子どもの最善の利益のために努めているところであり、同じ方針でなくとも、保育に大きな影響を及ぼすものとは考えておりません。
2	・移管先法人を保護者の意見だけで決められないのは考えられない。 ・法人選考に保護者一人しか出席できないのはなぜか財務以外は総合的に決めるのは保護者だと思う。	法人選考については、広い視野をもって総合的に適切かつ公正な選考をしていただくことが重要であると考えているため、保護者代表者をはじめ、学識経験者や関係団体代表者等で構成する選考委員会を設置しておりますので、ご理解いただきたい。
3	・法人選考は、もっと範囲を広げるべき。 ・移管先法人が1つしか手が挙がらなかった場合、選択の余地がないのはおかしい。 ・法人選考について、民営化が後になるほど選択肢が少なくなるのは保育の質が下がるので考え直してほしい。	法人選考については、民営化事業の評価を通じて、課題等を分析し、最適な手法を十分に検討してまいります。保育の基本的事項を定めた「保育所保育指針」に基づき、公立・私立を問わず、一定の保育の水準を保つこととされておりますので、保育の質が下がるということはないと考えております。 また、1法人のみの応募という状況もありましたが、選考委員会での選考結果は適切に判断されたものと考えております。 さらに、今後、公立保育所のあり方の検討及び民営化事業の評価を進める上で、法人選考等についても十分に検討いたします。

三者協議会

	主 な 意 見	考 え 方
1	・ 一方的、三者協議会に意味があるのか。市は園や保護者の意見を聞き流し、きちんとした回答をしていない。 ・ 保護者は民営化をするかどうかを決める話し合いと思っていたが、行政は、民営化を前提で、意見や希望を聴くという姿勢だったので保護者との溝を感じた。 ・ 保護者の意見を吸い上げないような市の代表の方がきても困る。	三者協議会は、子どもたちへの保育環境の急激な変化を最小限に止めるため、一定期間、民営化後も市が関わりをもって、移管条件や保育内容の継続性等について確認し合うとともに、問題点の改善を図る役割を担っております。 したがって、今後も、三者協議会などを通じて、保護者の意見を聴き、移管先法人とも連携をしながら円滑な移行・運営を図るとともに、積極的に情報を提供しつつ、しっかりと説明責任を果たし、子どもの最善の利益のために努めてまいります。
2	・ 三者協議会、合同保育の必要な準備が多く大変な割に成果が少なく保育士、保護者の負担が大きい。 ・ 毎年アンケートに書いても改善されない。そんな意見をもっと大事にしてほしい。 ・ 三者協議会も言葉を濁しすぎて、何も伝わってこないし、意見を言っても「決まったこと」の一点張りで改善しようとする姿勢が見られなかった。 ・ 何の改善もなく、計画を推し進めるだけのお役所仕事としか思えない。力を注いでくれた保護者のおかげで守れた部分もあった市に対しては、何もしてくれなかったとしか言葉がない。	民営化に伴う、三者協議会、合同保育などは、子どもの最善の利益を確保する観点から、保護者、保育園、市が意見交換しながら進めることが重要であり、また、三者がそれぞれ適切な役割分担のもと、協力・連携することが必要であると考えておりますので、今後も、ご協力をお願いしたい。 また、三者協議会では、保育環境の変化を最小限に止めるため、これまでから意見交換を行い、その対応に努めてきたところです。

民営化の良さ、新しい取り組みをしてほしい、現状にこだわりすぎ

	主 な 意 見	考 え 方
1	・ 約束のためにせざるを得ないようになっていく。 ・ 現状維持にこだわりすぎて、良いことも実施できてない。	子どもたちにとって、何が最善の利益かを一緒に考えていただき、必要なことを適切に実施できるよう、ご協力をお願いします。

その他

	主 な 意 見	考 え 方
1	・ 全てが何の利益もない民営化だった。そのことを市は受け止めていただきたい。	アンケート調査の結果では、非常に高い比率で、保護者の方から「概ね、満足している」との意見をいただいています。 今後は、その内容についても、外部委員の参加をいただき、民営化事業の評価を行い、その効果等についても示してまいります。

その他

	主 な 意 見	考 え 方
2	・耐震補強等、施設面ではきちんとしてから法人に渡すべき。 ・ルール違反を行政はしている。子どもの安全を優先していただきたい。	当該民営化した保育園の土地の無償貸付をはじめ、建物等の無償譲渡や民営化初年度に500万円の施設改修補助金を交付しており、移管先法人において適切に活用していただいていると考えております。 今後におきましても、国、府からの補助金の有効な活用と併せ、私立保育園の施設整備、また、運営補助等を行い、適切に対応してまいります。
3	・引継保育後、保育内容がガラリと変わり、保護者と対立している保育園もあると聞か、市が責任を持って介入すべき。	子どもたちへの保育環境の変化を最小限に止めるため、三者協議会を設け、一定期間、民営化後も市が関わりをもって、移管条件や保育内容の継続性等について確認し合うとともに、問題点などについても協議しており、引継保育後、保育内容が一変することはありません。 また、子どもの最善の利益のため、保護者、保育園、市の三者が意見交換（協議）しており、協力・連携する立場であって、対立するという立場ではございません。 さらに、保育内容を充実する場合においても、三者協議会において協議しており、保護者の同意を得て実施することになっております。
4	・もう少しスムーズに進められなかったのかと思う。 ・これからの4年間もしっかりと見守っていただきたい。 ・結果として引継がうまくいき、大きな問題なくきているが、問題が起こった場合の市の関わりが重要。 ・三者協議会では、現状維持を確認していたが、法人も保護者も現状を知らないで無駄だと思う。	今後とも、保育園、保護者、市が「次代を担う子どもたち」にとって何が最善の利益なのかを一緒に考えていけるよう、円滑な運営に努めてまいります。 子どもたちへの保育環境の変化を最小限に止めるため、三者協議会を設け、一定期間、民営化後も市が関わりをもって、移管条件や保育内容の継続性等について確認し合うとともに、問題点などについても協議しています。
5	・一緒に保育ができないのなら、募集を止めて空にしてから新しい私立園を作れば問題がない。 ・市がそのまま運営していれば、問題が起こらないと思う。民営化に反対。	待機児童や保護者ニーズなどから、保育の募集を止めることはできないと考えています。 また、効率的な保育所運営の推進を図る必要があり、問題を先送りにするのではなく、持続可能な都市を次世代に引き継ぐためにも、行政サービスの見直しは必要であると考えています。
6	・担当者を途中で変えていくのも納得がいかない。 ・民営化を最後まで見届けるような配置をすべきだと思う。	定期的な人事異動のため、担当者が変更になることがあります。また、担当者が変わっても、十分に引継をしておりますので、ご理解いただきたい。

その他

	主 な 意 見	考 え 方
7	・保護者の意見を吸い上げないで、一方的に民営化を進める市はどうかと思う。 ・市の突然の民営化発表は納得できないままである。 ・やってから話すのではなく、話してから実行してほしい。 ・市のやり方には不満。 ・市は、現場で頑張っている職員のおかげで順調に進んだことを忘れないでいただきたい。 ・今後はもっと職員や保護者、子どもの気持ち添っていただきたい。 ・市の対応は本当に保護者のことを考えているのか疑問に思うような発言も多く、質問に対しての返答も曖昧で不信感を持った。 ・みんなが納得できる保育所づくりをお願いしたい。 ・「よく分かりませんが」と新しい方のあいさつを聞いたときの腹立たしさは忘れられない。	公立保育所の民営化につきましては、平成16年から公立保育所のあり方に関する懇談会において十分検討し、懇談会から意見書の提出を受け、民営化基本方針を決定しているとともに、市議会での議論をはじめ、保護者説明会などを開催し、その周知を図っており、一方的に民営化を進めてきた訳ではございません。 今後も、市として、しっかりと説明責任を果たすとともに、子どもの最善の利益のために努めてまいります。

(4) その他、民営化について

(1)から(3)までの設問以外に、保護者が思っておられることを把握するため、その他、民営化に関して、自由にご意見をいただき、民営化事業評価の参考にしています。

民営化について

「民営化について」は、民営化以前・以後を問わず、在園されている世帯（方）を対象として、民営化についての意見を自由に記述いただいた。

主な意見について、下記の表のとおり、「民営化以前からの在園世帯」と「民営化以後に在籍された世帯」、それぞれに意見の多い順番に分類しています。

■ 民営化以前からの在園世帯

保育の質に関する意見	17
民営化の目的	7
保護者への説明等	7
民営化事業の検証	6
民営化までのスケジュール	5

■ 民営化以後からの在園世帯

保育の質に関する意見	26
保護者の負担	9
私立保育園への支援	7
保護者への説明等	4
完全移管後の市の対応	3
民営化までのスケジュール	3
保育料の賦課徴収	3

【民営化以前からの在園世帯の具体的な意見】

保育の質に関する意見

- ・ 民営化が必要なのは理解している。しかし、現状は保育サービスの質の低下と保護者の費用負担増大だけが結果として残っている。
- ・ 民営化をきっかけに、良いものは取り入れ、保育園と保護者の負担が減るようにシンプルな形態にして欲しい。
- ・ 今はまだ公立の保育を引き継いでくれているが、今後、市が関わらなくなった時が不安。

なお、「保育の質に関する意見」の具体的な意見については、私立保育園の良さを取り入れたいとする「保育の向上」を希望する意見が9件、また、一定期間、公立の保育内容を引き継いだ後の「保育の変化」を心配する意見が5件、さらに、「保育の低下」を指摘する意見が2件という状況であります。

民営化の目的

- ・ 民営化の目的は何ですか。未来を担う子どもたちを利益目的の対象としていいのですか。
- ・ 何故民営化しなければならないのか、未だに疑問だ。

保護者への説明等

- ・ 「時間をかけて保護者の納得を得る」というのは「言いたいだけ文句を言わせる場をとにかく設定する」ことではないと思う。
- ・ 良いところ、悪いところがあると思うので、役所の方ももっといろいろな情報を集めて民営化した園を見に来てほしい。
- ・ 子どもにどれだけの影響がでるか、見えない不安があった。この不安をぬぐえるよう、保護者への事前説明が必要だと思う。

民営化事業の検証

- ・民営化して市の財政は良くなったのか。
- ・民営化でよくなった点もあれば悪くなった点もある。今回 8 か所の問題点を検証し、更に民営化を進めるべき。
- ・検証結果はどのように活用されるのか。

民営化までのスケジュール

- ・もう少し子どもに負担のない方策を確立してから行うべき。落ち着くまで 2 年はかかる。
- ・引き継ぎがタイトスケジュールだと思う。
- ・4 月には先生方もすごく構えておられると感じられた。合同保育引き継ぎについてはもっと時間、人数をかけた方がよい。

【民営化以後からの在園世帯の具体的な意見】

保育の質に関する意見

- ・協定期間が終了し完全民営化になった時、どのように変わるかが 1 番心配。
- ・完全民営化後、経費が削減され先生の数が減ったり、質が低下しないか心配。
- ・今は協定期間中なので公立の保育を引き継いでいるが、完全民営化した時が不安。
- ・スイミング、英語等習い事も年長児クラスには入れてほしい。

なお、「保育の質に関する意見」の具体的な意見については、私立保育園の良さを取り入れたいとする「保育の向上」を希望する意見が 11 件、また、一定期間、公立の保育内容を引き継いだ後の「保育の変化」を心配する意見が 10 件、さらに、「保育の低下」を指摘する意見が 4 件という状況であります。

保護者の負担

- ・民営化については良い面も多いと思うが完全民営化になった時の保育料以外の費用が心配。
- ・完全民営化になると同時に費用面がガラリと変わり我々には選択の余地がないことが心配。
- ・今は協定期間中なので変化や不満もないが協定期間終了後が不安。制服、カラー帽子、ピアノカの購入、延長保育料の値上げ（月極がなくなり時間制）等納得しかねる費用負担が徐々に公表されている。

私立保育園への支援

- ・ 保育事業という大事な部分を担っている保育園に対しては、引き続き公からの支援や施策が欲しいところです。
- ・ 民営化によってサービスが充実したり自由度が増す点等については評価できるが、公立時代に出来ていたことが運営費不足で出来なくなり後退することのないようにお願いしたい。
- ・ 民間園に対して市はどれだけフォローしているのか示していただきたい。

保護者への説明等

- ・ 市の説明は納得いかない。民営化は仕方ないと思うし、今の園にも慣れたが過程が大事。
- ・ 何かあれば、その都度話し合っていける雰囲気作りが一番大切だと思います。
- ・ 民営化は仕方ないことだと思うが、常に市との連携を密にしてほしい。

完全移管後の市の対応

- ・ 子どもや保護者が戸惑うことのないよう、現状のままの保育を行ってほしい。
- ・ 民営化しても決して丸投げすることなく、市としてきちんと責任を持って対応してほしい。

民営化までのスケジュール

- ・ 子どもたちの負担が最小限になるようにお願いする。
- ・ 三者協議会に参加して思った事は、引き継ぎ期間が短かったと、何度も議案に挙がっているにも関わらず、市が検討しているとは全く思えなかった。

保育料の賦課徴収

- ・ 保育料に対して市が絡んでいるのが余計ややこしくしていると思います。そのあたりをよく考えて市は努力すべきです。

このような保護者からの具体的な意見のほか、誤解されている意見や回答を求めている意見などがあることから、以下のとおり、一覧表にまとめて考え方を示しています。

【 民 営 化 以 前 か ら の 在 園 世 帯 の 主 な 意 見 と 市 の 考 え 方 】

保 育 の 質 に 関 す る 意 見

	主 な 意 見	考 え 方
1	・ 民営化が必要なのは理解している。しかし、現状は保育サービスの質の低下と保護者の費用負担増大だけが結果として残っている。市の監督責任を問う。 ・ 民営化された保育園は法人のよい部分、公立のよい部分を生かしてほしい。民営化を進めて茨木の保育に何か変化はあったらどうか。 ・ 待機児童は増える一方で、保育所をへらすのは矛盾しているのではないか。 ・ 保育園ではあそびだけでなく教育もしてほしい。 ・ 民営化になったのなら、その園らしさを出してほしい。 ・ 移管後は移管先の考えを取り入れるとよい。 ・ 民営化されてまだ1年だが、今はまだ公立の保育を引き継いでくれているが、今後市が関わらなくなった時が不安だ。 ・ もうこれ以上行わないで欲しい。茨木市の保育水準、質が低下していつている。	公・私立を問わず、保育の内容やこれに関連する運営等について定めた「保育指針」に基づいて、これまでから運営して（されて）きましたので、保育の内容に大きな差があるとは考えておりません。 また、私立保育園の即応性や柔軟性といった観点から、地域で求められる保育ニーズへの柔軟な対応も必要でありますので、子どもたちにとって、何が最善の利益かを一緒に考えていただき、必要なことを適切に実施できるよう、ご協力をお願いします。 なお、民営化事業は、保育所を減らすことではありません。

民 営 化 の 目 的

	主 な 意 見	考 え 方
1	・ 民営化の目的は何ですか。子どもを、未来を担う子ども達を利益目的の対象としていいのですか。 ・ 何故民営化しなければいけないのか、今に疑問だ。 ・ 民営化の目的は茨木市の福祉予算の削減だろうが民営化してコストが下がる訳でなく人件費にしわ寄せが行っている。実際民営化してからの方が若い。将来設計は大丈夫かと心配。今後どんな職業につくのかは、子どもたちの成長にも影響する。行政も考えてほしい。 ・ 市の勝手な言い分で民営化し、子どもたち、保護者、先生方の気持ちを無視、これ以上私たちのような思いをする人が出ないよう、民営化は止めてください。 ・ これ以上の民営化はやめていただきたい。今残っている公立は市が責任を持って運営していただきたい。	公立保育所の民営化につきましては、多様化する保育ニーズに迅速かつ柔軟に対応するなど、保育行政の新たな施策の展開に向けて、公・私立保育所（園）の役割分担と公立保育所の機能と役割を明確にする中で、保育サービスの充実と今日的課題である地域における子育て支援等を推進するとともに、厳しい財政環境の中にあって、民間活力の導入（民営化）を図り、より効果的・効率的な保育所運営を目指すことを目的としており、利益目的ではありません。 民営化により経費節減も見込まれますが、未来を担う子どもたちのための新たな施策や事業を実施するとともに、あらゆる行政課題への対応のための財源の配分を考慮し、効果的・効果的な行政運営を図っていくことも行政の役割であると認識しております。 したがって、子ども・子育て支援といたしまして、在宅子育て家庭支援保育士の配置をはじめ、本市独自に乳幼児医療費助成制度における対象年齢の拡大やぼっぼルームの土曜日の開所など、その充実を図ってきたところでございます。

保護者への説明等

	主 な 意 見	考 え 方
1	・ 当時は情報の少ない中、あわただしいスケジュールで強引な感じを受け、持たなくてもよい反感を抱いた。「時間をかけて保護者の納得を得る」というのは「言いたいだけ文句を言わせる場をとにかく設定する」ことではないと思う。 ・ 民営化に反対の保護者、賛成の保護者、いろいろな考えの人がいることを、もっと理解してください。 ・ 良いところ、悪いところがあると思うので、役所の方ももっといろいろな情報を集めて民営化した園を見に来てほしい。 ・ 子どもにどれだけの影響がでるか、見えない不安があった。この不安をぬぐえるよう、保護者への事前説明が必要だと思う。 ・ 民営化した以上、保護者の不満の声を聞いて改善方向へ向かってほしい。	子どもたちへの保育環境の変化を最小限に止めるため、一定期間、民営化後も市が関わりをもって、民営化の説明会や三者協議会を通じて、移管条件や保育内容の継続性について確認し合うとともに、問題点などについても協議してまいりましたが、今後も、三者協議会などを通じて、保護者の意見を聴き、移管先法人とも連携をしながら円滑な移行・運営を図るとともに、積極的に情報を提供しつつ、しっかりと説明責任を果たし、子どもの最善の利益のために努めてまいります。

民営化事業の検証

	主 な 意 見	考 え 方
1	・ 民営化でよくなった点もあれば悪くなった点もある。今回8か所の問題点を検証し、更に民営化を進めるべき。 ・ 民営化して市の財政は良くなったのか。 ・ 検証結果はどのように活用されるのか。 ・ 4年間かけて民営化が進められたが、茨木市として改善されたか疑問。 ・ 民営化したことによる効果、成果を市民に市政日より等で開示していただきたい。このアンケートが参考資料程度にならないことを祈る。	今後、外部委員にも参加していただき、財政的效果を含めた民営化事業を評価し、報告書として公表するとともに、事業の評価を通じて、課題等の把握に努め、その改善策についても検討し、今後の公立保育所のあり方を示してまいります。

民営化までのスケジュール

	主 な 意 見	考 え 方
1	・ 民営化は大人の都合、子どもにとって園内が落ち着くまでは相当ストレスがあったのでは。もう少し子どもに負担のない方策を確立してから行うべき。落ち着くまで2年はかかる。 ・ 民営化当初、「保育園に行きたくない」と泣かれて大変だった。民営化による小さな混乱は我が家にはあった。 ・ 民営化で悪いことばかりではなく、先生方の熱心さもあるので、子どもが混乱することのない様に気を配って進めていただきたい。 ・ 引き継ぎがタイトスケジュールだと思う ・ 合同保育、引き継ぎについてはもっと時間、人数をかけた方がよい。	保護者説明会をはじめ、合同保育や引継保育、巡回保育など、必要な期間を検討し、合同保育3か月、引継保育6か月、巡回保育3か月、合計1年間を通して、保護者の不安解消と保育環境の変化を最小限に止めるよう、円滑な引き継ぎに努めております。 今後、民営化事業の評価を通じて、より一層の円滑な引き継ぎが行われるよう、引継保育等の実施期間等について十分検討してまいります。 また、保育園、保護者、市がそれぞれ適切な役割分担のもと、「次代を担う子どもたち」にとって何が最善の利益なのかを一緒に考えていけるよう、ご協力をお願いします。

【民営化以後からの在園世帯の主な意見と市の考え方】

保育の質に関する意見

この項目に関する意見については、民営化以前からの在園世帯における「保育の質に関する意見」に示す意見と同様の内容であり、市としての考え方についても、同様であることから割愛します。

保護者の負担

	主 な 意 見	考 え 方
1	・体操着を導入するとか、Tシャツも別料金とか、その年代の保護者がいなくなれば、それであとは好きなようにできると法人は思っているんじゃないでしょうか。 ・民営化については良い面も多いと思うが完全民営化になった時の保育料以外の費用が心配。 ・保育費以外の費用が多すぎる。完全民営化になると同時に費用面がガラリと変わり我々には選択の余地がないことが心配 ・制服、カラー帽子、ピアノカの購入、延長保育料の値上げ（月極がなくなり時間制）等納得しかねる費用負担が徐々に公表されている。 ・費用負担にしても、保育協力費、体操服カラー帽子は毎年買い替え等、最初法人選考の時もここまでの負担は連絡してもらっていない。 ・急に食費、制服、教材費等保育料以外を導入しないほしい。 ・保育園側の一方的な提示額に我々保護者は従うしかないの、市は第三者の立場でしっかり評価、指導してほしい。	保護者の費用負担につきましては、一定期間、基本的に新たな費用が伴わないよう、基本方針に示す「市が予め認めた費用」として、給食費、延長保育料、災害共済掛金を原則としています。 しかしながら、これら以外の費用の徴収については、保護者の方の承諾を得られれば、それを妨げるものではありません。 また、保育料以外の費用については、保育園から事前に情報提供されているところもあり、現在、市のホームページにおきましても、私立保育園の保育料以外の費用について、把握できているものについては、公表しているところであります。 本市といたしましても、できる限り、保護者の方への情報を提供するためにも、その把握に努めてまいります。 また、市が第三者として、費用負担に対して直接、評価・指導することはありませんが、本年7月以降、保育内容や利用者サービス等についての指導・監査を市が実施することになりますので、法令等に基づき、適切に対応してまいります。

私立保育園への支援

	主 な 意 見	考 え 方
1	・民営化によってサービスが充実したり自由度が増す点等については評価できるが公立時代に出来ていたことが運営費不足で出来なくなり後退することのないようにお願いしたい。 ・施設を見ても今後かなり負担を強いられると思う。 ・全体的な補修が必要な限界時期となっているように思う。保護者と園の意向に合わせた建て替えに市からも協力してほしい。 ・民間園に対して市はどれだけフォローしているのか示していただきたい。	当該民営化した保育園の土地の無償貸付をはじめ、建物等の無償譲渡や民営化初年度に500万円の施設改修補助金を交付しているとともに、これまでから保育指導主事による巡回等による指導など、子どもの最善の利益のために努めているところです。 また、国、府からの補助金の有効な活用と併せ、私立保育園の施設整備補助、また、市独自の運営補助等を実施しているところであります。 今後におきましても、国、府からの補助金の有効な活用と併せ、私立保育園の施設整備、また、市独自の運営補助等を行い、適切に対応してまいります。

保護者への説明等

この項目に関する意見については、民営化以前からの在園世帯における「保護者への説明等」に示す意見と同様の内容であり、市としての考え方についても、同様であることから割愛します。

完全移管後の市の対応

	主 な 意 見	考 え 方
1	- 今年1月の園だよりで「今年の4月で民営化されて5年目。5年間公立を引き継ぐという条件も最後の年」と書かれていた。6年目からは、全く市は関与しない（できない）のだろうか。 - 子どもや保護者が戸惑うことのないよう現状のままの保育を行ってほしい。 - 民営化しても決して丸投げすることなく市としてきちんと責任を持って対応してほしい。	平成23年7月に、大阪府から保育所（園）の認可事務権限の移譲を受けることに伴い、保育所（園）の最低基準など運営面や利用者サービス等についての指導・監査を市が実施することになりますので、法令等に基づき、適切に対応するとともに、これまでから保育指導主事による巡回等も実施しており、全く関与しないということはありません。 一方、民営化後、子どもたちへの保育環境の変化を最小限に止めるため、三者協議会を設け、一定期間、民営化後も市が関わりをもって、移管条件や保育内容の継続性等について確認してまいりましたが、今後、法令等に基づく指導・監査は除き、基本的には市が運営にまで関与することとはできないと考えています。

民営化までのスケジュール

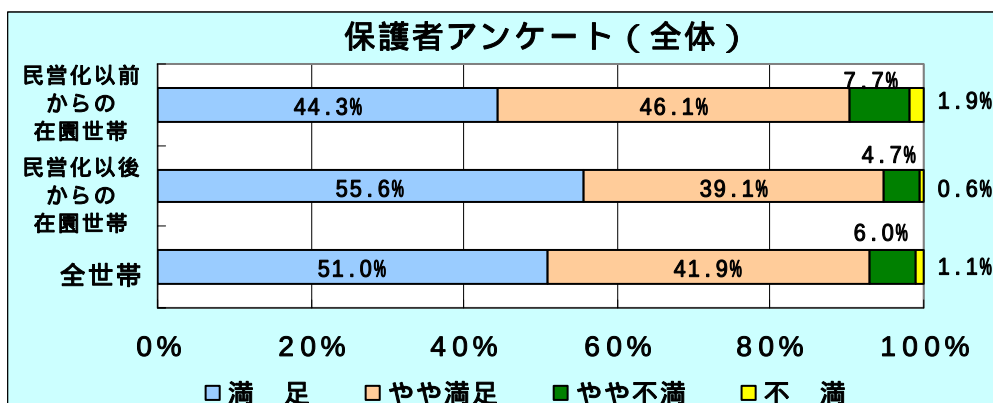
この項目に関する意見については、民営化以前からの在園世帯における「民営化までのスケジュール」に示す意見と同様の内容であり、市としての考え方についても、同様であることから割愛します。

保育料の賦課徴収

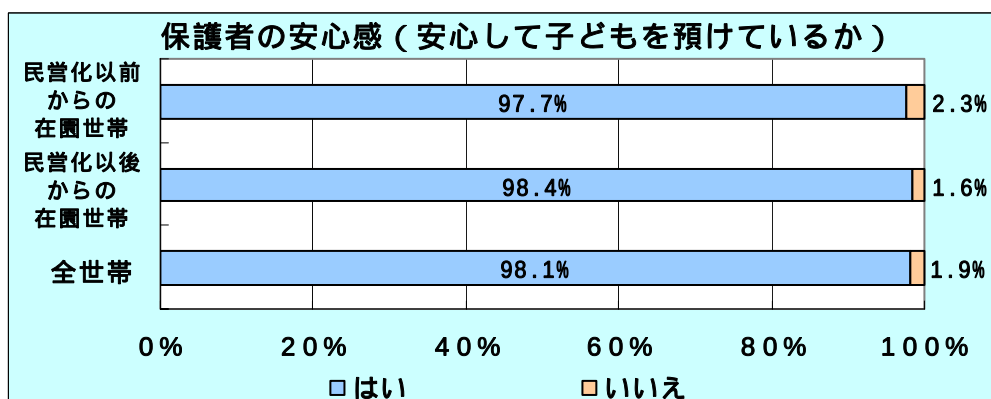
	主 な 意 見	考 え 方
1	- 保護者からすれば、保育料は市に払っているのでもちろん民営化になっても、料金を払っているところに不満がいつてしまいます。 - 料金に対して市がからんでいるのが余計ややこしくしていると思います。そのあたりをよく考えて市は努力すべきです。 - 保育料が高い。収入によって差があるのはわかるが、階段が急過ぎて負担が大きい。 - 来年度からの保育料の高さを考えると、民営化によって保育料が上がるのかとさえ考える。	保育料につきましては、同一基準による賦課徴収を実施しており、各保育所（園）が行うよりも一括して行政が実施することにより、各保育所（園）の負担の軽減を図ることができ、効率的に実施できるなどのメリットがあります。 また、保育料等の未払いなどにより、私立保育園の運営に支障をきたすことも考えられるため、安定した保育の提供にも資しているところです。 本市の保育料につきましては、北摂各市と均衡等にも配慮して、国の基準よりも低く算定していますので、ご理解いただきたい。 また、保育料につきましては、所得に応じた応益負担をしていただいておりますが、民営化によって保育料が上がるとことはありませんが、一部、保育園が独自で徴収する諸経費などの費用が必要になることが考えられます。

保護者アンケートのまとめ

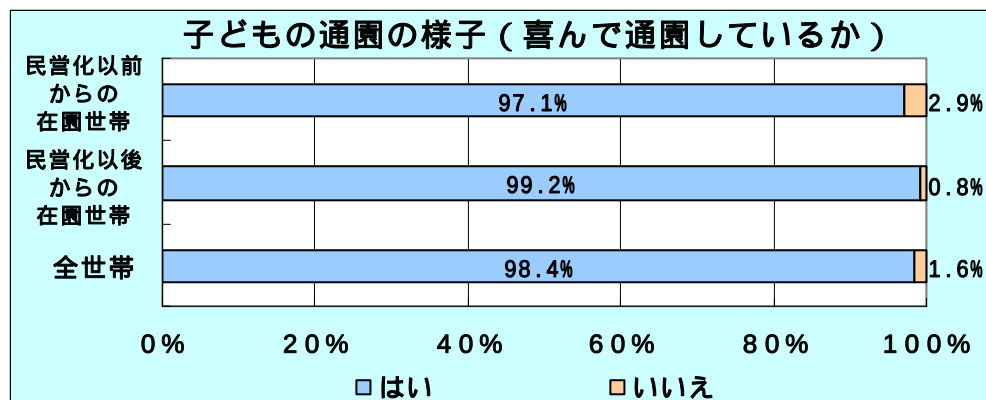
子ども・保護者の視点（満足度）から「保護者アンケート」のまとめとして、全て項目を総括すると、下記の表のとおり、「満足」と「どちらかと言えば満足」とした方の比率は 92.9%と非常に高い比率で「概ね満足」であることが考察できます。



また、保護者の安心感を考察できるアンケート項目として、「安心してお子さんを預けていますか」との設問では、下記の表のとおり、回答をいただいた 437 世帯のうち、「はい」と回答した方の比率（合計）は 98.1%、「いいえ」と回答した方の比率（合計）は 1.9%であり、非常に高い比率で、多くの保護者の方が「安心して子どもを預けている」という結果がでています。



さらに、現在の子どもの通園の様子を考察できるアンケート項目として、「喜んで通園していますか」との設問では、下記の表のとおり、回答をいただいた 437 世帯のうち、「はい」と回答した方の比率（合計）は 98.4%、「いいえ」と回答した方の比率（合計）は 1.6%であり、非常に高い比率で、多くの保護者の方が「喜んで通園している」という結果がでています。



【アンケート結果の活用】

保護者アンケートの結果については、今後、「茨木市立保育所民営化庁内検討委員会」において、「民営化事業評価に関する報告書（素案）」を検討する際の重要な参考資料として活用するとともに、その素案がまとまり次第、市民や法人代表、学識経験者等で組織する「茨木市立保育所民営化外部検討委員会」からご意見をいただき、「民営化事業評価に関する報告書」としてとりまとめ、公表してまいります。

< 別添資料 1 >

保育園の保育内容等に関するアンケート

(1) 保育園に通っているお子さんについてうかがいます。

1	入園時期はいつですか	平成	年	月
---	------------	----	---	---

この保育園に二人以上入園している場合は、一番通園期間が長いお子さんの入園時期を記入してください。

(2) 現在の保育園のサービス内容について、お聞きます。(何かご意見があれば、 欄にご記入ください。)

		満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満
2	保護者との連携について (園だより、その他の情報提供、保護者会との連携)	1	2	3	4
3	クラス担任の保護者への対応について (送迎時、病気・けがの時、個人ノート、相談事への対応) (言葉遣い、挨拶礼儀、笑顔)	1	2	3	4
4	保育内容について (運動遊び、造形遊び、音楽遊び、他の豊富な体験)	1	2	3	4
5	行事について (行事の内容、実施日の配慮)	1	2	3	4
6	食育について (メニュー、食材、菜園活動、クッキング、マナー)	1	2	3	4
7	保育の環境について (安全面、設備・備品面、美的環境面、衛生面、保育材料面)	1	2	3	4
8	仕事に対する職員の努力や熱意について	1	2	3	4
9	総合的な満足度について	1	2	3	4

(3) 児童と保護者自身についてお聞きします。

10	お子さんは喜んで通園していますか。	はい	いいえ
11	保護者自身が安心してお子さんを預けていますか。	はい	いいえ

(4) 移管前後の保育内容・サービスについてお聞きします。
(移管前から在園されている方のみお答えください。)

12	移管前と比べて良くなったと思う点について、ご自由にお書きください。	
13	移管前と比べて気になる点について、ご自由にお書きください。	
14	民営化の進め方 ・情報提供 ・スケジュール ・法人選考 ・引継ぎ ・合同保育 ・三者協議会 等 について、ご意見やご提案を自由にお書きください。	

(5) その他、民営化についてご意見をお聞かせください。
(在籍されているすべての方に、お聞きします。)

15	
----	--

ご協力ありがとうございました